



西南学院大学

図書館報

No. 104

1985(昭和60)年7月2日発行

〒814

福岡市早良区西新6丁目2番92号

西南学院大学図書館



考えることを考える

経済学部教授 岩元和秋

ある寸景——ガラ空きの地下鉄でT駅から乗ってきた青年、紺のスーツも板につき、アタッシュケースを提げ、見るからに行動派的な中堅社員と見受けたが、座席にすわるやくだんのケースから部厚い本を取出して読みはじめた。その本の名は「少年マガジン」——こんな風景は今では珍しくもない。

ひと昔前にほんとうにあった話——ある会社の新入社員選考の口頭試問でのこと、会社側の質問、「君は何か趣味がありますか」、青年「はい、文学です。小説をよく読みます」、会社側「ほう、誰の作品が好きかね」、青年「漱石先生のもんです。でも、あの先生、この頃あまりお書きになりませんね」。世の中には時どきこういう「涼しい」頭の青年がいなくて面白くない。

そうかといって、今どきの青年は、——ああ、また年寄りの言い草がはじまる、と思うだろうが——みんなあまり本を読まない、といっているに言いすぎかもしれない。あまり読みすぎて浅田彰のようにエラくむずかしいことをいう青年もいるし、出版冊数では世界に冠たるわが国の街の本屋ではぼう大な書籍の山に挑まんばかりに青年の群れが立ち読みをしているのだ。しかし、あえて言えば、彼ら、というか、君等と二人称でいうべきか、本をじっくり読めないのはあまり忙しすぎるんだ、そのため「考える」ヒマがなくなってるんだと思う。

朝から晩までテレビやラジカセの音をききながら器用に勉強する「ナガラ族」として育ち、やがて、単位、単位に追われ、講義が終わるとバイトに駆けつけ、わが家に帰るとせいぜい週刊誌(あえて「朝日ジャーナル」とは言わない。あのような小むずかしいのは私もニガ手である)に目を通し、そのまま寝てしまうか、テツマンとやらで目を赤くしているうちにいつの間にやら卒業、といった具合。「いや、とんでもない、私はそんなことはない」と目をむいて反論するかもしれないが、万事平均値でものをいう世の中のこと、VTRが4軒に1台普及しているというメデたい御時世(経済企画庁、5月21日発表)なれば視聴覚の休まるヒマとてないのも已むを得ないと思う。

ただ、グルーミーな将来を予想する私はやはりひとこと言いたい。私達が若い頃、受験「戦争」ならぬ「勉強」から解放されて真っ先に読んだ本が哲学者・出隆の『哲学以前』であったが、その本の終わりのほうに哲学とは「考えることを考えることにはじまる」というような言葉があったことを思い出す。時には索莫たる静謐(せいひつ)の空間で「オレは何のため生きてるんだ、いや「何のためとはどういうことなんだ」と気取って考えてみるのもまた何やら「涼し」くていいではないか。されどいま、わが「街騒(まちざわ)の中の小さな家」の隣室ではドラマの音楽が流れているのをいかにせんである。

(地方財政論)



文学部助教授 斎藤末弘

雑誌『世界』(5月号)は「大学生と読書」特集を載せています。それによれば現代学生の3人に1人が「学生生活が充実していない」ことを訴え、それ故に87.9%が本を求めている傾向を報告しています。これは全国大学生の平均値ですが、みなさんはいかがでしょう。学生生活を生き生きとしたものにし、専門を様々な角度から深める喜びが「充実」した学生生活になることは、言うまでもないことです。もし諸君の日常が「充実」していないとしたら、夏休みこそ重要な転機にしなければなりません。この自由な、きらめく青春の特権を、どう使うかによって成長の度合い、充実度が全く違ってくるのです。旅行・アルバイト・車の免許取得等いろいろありましょう。けれども読書計画も是非立てて欲しいと思います。

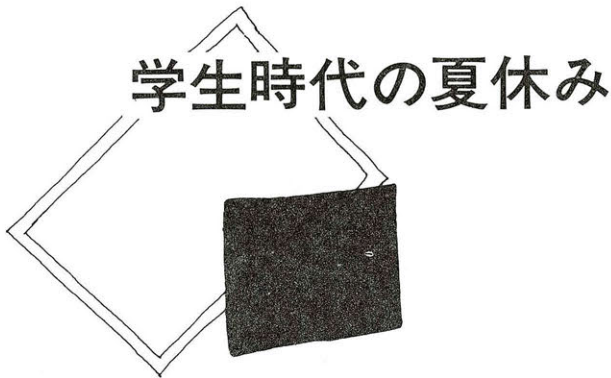
私の貧しい経験から言えば、夏休みは計画を立てなければいつの間にか終わってしまうということです。できれば読書ノートを創りたいものです。大作なら2～3冊、無理をせずじっくり時間をかけて読むことも貴重な経験になるでしょう。青春とは可能性にあふれている故に不安と迷いの季節です。明るさ、暗さの中から「感動」をみつけて欲しいものです。私の学生時代は、例えば、夜眠れなかった時は『眠られぬ夜のために』(ヒルティ) 絶望した時『死に至る病』(キエルケゴール) とい

うように「生きるための読書」ということが動機としてあったように思います。要するにネクラだったのです。しかし、夏休み中に読んだスタンダーの『赤と黒』や、ドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』を白々と明けてゆく朝方に読した征服感と感動を今も忘れることができません。

私の経験は、小さな私事ですからどうでもいいのです。大切なのは「問い」をもつこと、「発見する」ことだと思うのです。何を読んでいいか迷っている諸君には「古典」を読むことをお勧めします。古今東西の古典には例外なく深い知恵と感動がかくされているからです。他に例えば朝日新聞社学芸部編『一冊の本』(雪華社)という書物があります。これは各界の代表的な人びとが「人生の1冊」を選んで紹介したものです。また「知の最前線、100冊の本」(『国文学』昭57.6)では、現代の先端をゆく人類学から都市空間論までを紹介しています。これらを参考にして選ぶのもいいでしょう。

「青春とは 情熱だけです」と言ったのは、ヴァレリイですが、諸君の夏休みの読書経験が、自ら問い、選び、発見する貴重な「充実」したものになるように祈ります。

(日本文学)



学生時代の夏休み

田 中 千 賀 子

図書館報なので、本ばかり読んでいました、と言わなくてはならないのだろうが、たいてい図書館から借りた本は、ほとんど手にも取らずに埃まみれになっていたような気がする。働き始めてつくづく思うことは、自分の自由になるお金と時間の少なさである。学生時代はお金の方ではなかったが、暇ならもて余すほどあった。特に夏休みともなれば、高校時代よりずっと長いし、補習もないし、終われば試験があるにはあるが、ともかく自由な時間が最大限に広がっているのだ。バイトで汗を流すのもよし、家でゴロゴロするのもよし。

しかしここで私がお勧めしたいのは、金のかからぬ贅沢な旅、ということである。これは一見矛盾しているようで、実はちっとも矛盾していない。社会人ともなれば旅行するにも往復に飛行機、またはツアーで、というパターンがどうしても多くなってしまう。時間の都合上やむをえないことなのだが、これでは旅のおもしろさの半分も味わっていないと思う。自分でせっせと計画たてたり、えっちらおっちら苦労して目的地に辿りつくことに旅の本当の良さがある。時間に恵まれている方々には、鈍行での旅を是非推薦したい。座席の悪さを我慢すれば費用も格安である。今や日本中の都市は画一化されてどこも似たりよったりだが、まだまだ地方に行けば各地の特色ある風景を見る

ことができる。家一つでも、土地によって形や建て方が違うし、入れ替わり立ち替わり乗り降りする人達の方言の違いは、いかにも旅情をそそるものがある。

もう一つ、このような旅に出かけるときは、一人旅が良ろしい。グループで行けばどうしてもその中の人としゃべってしまうが、一人なら否が応でも見ず知らずの人と話すことになる。幸い日本は治安がいいので、女一人でもたいていのところへ行くことができる。そうして時には、土地の人の思わぬ親切に手を合わせたくくなるような感動を覚えることもある。

そして更に学生時代が有利だと思うのは、ユースでも民宿でも、安いところにホイホイ泊まれることである。どうもこの年齢になるとユースなんて恥ずかしいし、何より働いてるんだという見栄で、いいところに無理して泊まるなんてことにもなってしまう。良いホテルは快適だけど続けて泊まるとあきてくる。

長い人生で今ほど体力にあふれ、やりたいことをやれる時はないのである。旅で得た経験は何ものにも替え難い貴重な糧となるだろう。どこへでも良いから、時刻表片手に飛び出そう。学割のきくうちに…。

(本館職員 昭和58年文学部卒業)

昭和59年度 図書館各種統計

● どんな内容のものがどれだけ増加したか。

○図 書

(単位:冊数)

分類 区分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	總 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	工 学	産 業	芸 術	語 学	文 学	
和 書	806	1,126	906	6,948	683	479	835	745	346	1,292	14,166
洋 書	467	687	547	3,196	235	110	348	333	735	2,217	8,875
計	1,273	1,813	1,453	10,144	918	589	1,183	1,078	1,081	3,509	23,041
58年度 和洋合計	962	1,716	1,187	8,720	769	418	1,424	878	1,188	3,095	20,357

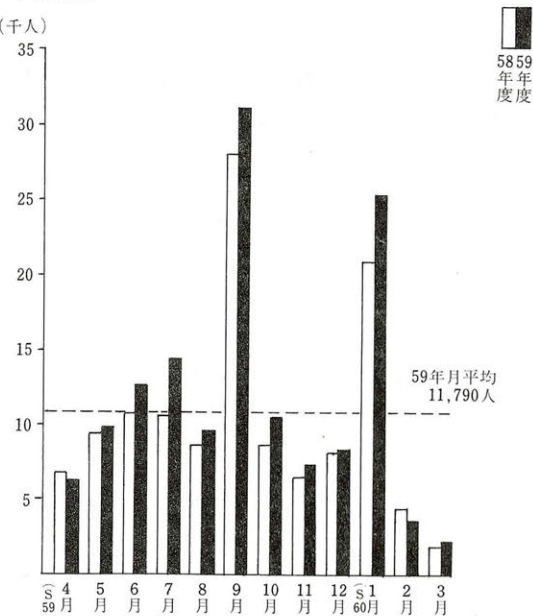
○視聴覚資料

レコード	テ ー プ	マイクロ フィルム	マイクロ フィッシュ	フィルム	スライド	絵 話	フロッピー ディスク	ビデオ テープ	計
371枚	41リール	463リール	419点	13 本	0 本	0 点	18 枚	11リール	1,336件

●この2年間にどれだけ利用されたか。

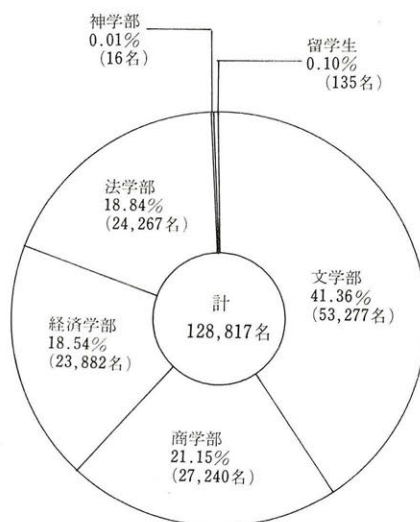
○入館者数(月別)

(千人)



○学部別入館者数(割合)

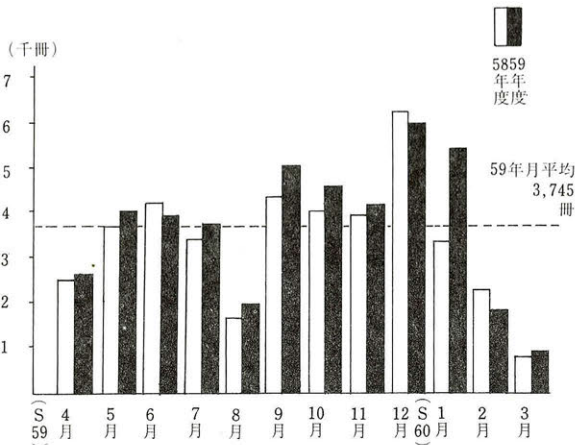
(教員・大学院生・学外者を除く)



年度	合 計	1 日 平 均
58	126,897人	460人
59	141,483	518

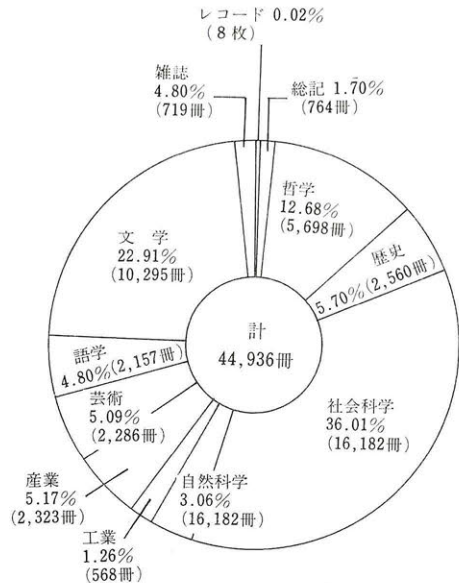
(58年度 開館日数 276日)
(59年度 開館日数 273日)

○館外貸出冊数



年度	合 計	1 日平均
58	41,200 冊	149 冊
59	44,936	165

○主題別貸出冊数 (割合)



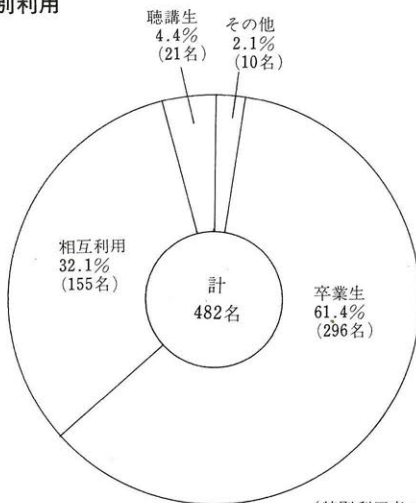
●その他の利用統計

○文献複写

種別		電 子 複 写		マイクロフィルム からの引伸	
利用者区分					
学 内	教 員	1,033 件 (1,068)	30,025 枚 (31,935)	20 件 (81)	420 枚 (1,512)
	学 生	4,652 (4,560)	43,252 (51,485)	3 (0)	64 (0)
学 外		828 (465)	11,918 (8,177)	0 (0)	0 (0)
合 計		6,513 (6,093)	85,195 (91,597)	23 (81)	484 (1,512)

※()内は58年度

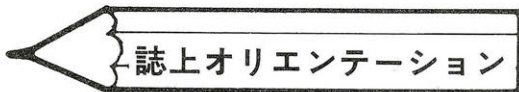
○特別利用



(特別利用者482名の内訳)

- 他大学図書館へ本学学生の相互利用希望 51件(45)
- 視聴覚機器貸出 3件(5)
- 学生の図書購入希望 163件(97)
- 投 書 3件(11)
- 紛失弁償図書冊数 15冊(12)
- 閉架図書閲覧者 3,828名(4,243)
- その内訳
 - 卒業論文 480名(510)
 - 図 書 1,341名(1,446)
 - レコード 45名(27)
 - 新聞・雑誌 1,960名(2,260)
 - 紙 芝 居 2名(一)

※()内は58年度



④

目録カードの利用法

たくさんの図書の中から

欲しい一冊を見つけるには？

自分の読みたい分野、テーマがどの分類にあたるのか、どの書架に配置されているのか、分類番号と書架がわかれば開架閲覧室の図書は自分で手にとって選ぶことができます。しかし、ここにあるのが図書館の全図書ではありません。開架閲覧室に備えきれない図書が書庫（**CLOSED**）に多くあり、又、本来その書架にあるべき図書でも閲覧中や貸出中であったり、修理中であったり、一時的にそこに配架されていないこともあります。つまり求める図書が図書館にあるかどうかを確実に知ることが必要で、そのために用意されているのが**目録カード**です。

本館にある目録カードは、**著者名・書名・分類**の三つの角度から探せますので、求める図書のどれか一つがわかっているれば迅速に所蔵の有無が調べられます。

著者名目録

求める本の著者がわかっている場合、ある著者について調べようと思う時、著者名カードを探してください。著者名目録は、著者（编者）名を、個人・団体を問わずアルファベット順に配列したものです。個人名は**姓・名の順**で一般によく知られている形に、団体名は正式名称にそれぞれ統一してあります。（例：森林太郎＝森鷗外／NHK＝日本放送協会）**中国人名・朝鮮人名**の場合など漢字で記載されているものは**音読**で整理しています。（例：金日成＝Kin, Nissei）**西洋人名**の場合は**サーネーム**が先にきますので注意してください。

い。訳者ではできません。（例：William Shakespeare＝Shakespeare, William）

※講座・大系の時は、講座名・大系名で探してください。著者が三人までの時は最初の著者、四人以上の時は書名標目となっています。清音で探して出てこない場合、濁音でも探してください。

（例：Takata＝Takada）

書名目録

書名はわかっているが著者名がわからない時、複数著者の多くの著作を集めた全集・講座などを見たい時には、書名カードを探してください。書名目録は、書名を**ローマナイズ**して、**アルファベット順**に配列したものです。（ヘボン式を採用）

※年度等が先にきた書名は年度（第○回）は後にまわして並べています。（例：昭和60年版 決算と会計検査＝決算と会計検査 昭和60年版）巻号などは、数字を逐いますが、書名の中の数字はアルファベット順で並びます。NipponはNihonも見てください。

分類目録

特定の主題（分野）の図書を探したい時、図書の内容や形式によって、日本十進分類法（N.D.C.）に従って、学問分野毎に体系的に配列された目録カードです。例えば、日本国憲法に関して調べたい時は、323.4の分類番号を見る、といったように利用できるわけです。

まず、目録カードの検索に慣れることが、図書館をフルに活用するキー・ポイントといえます。

（整理課和漢書整理係）



雑誌の利用法

—卒論・レポート等の作成にあたって—

皆さんが、ゼミ、講義、その他で提出しなければならない卒論、レポート等の作成で参考になる文献をどう探して使うかについて、過去の例を取り上げながら見て行くことにします。

一般に、文献を探す時の最初の手がかりは、文献の著者、書名(記事名)、または主題のいずれかです。そして基本的な手順としては、三次文献(書誌の書誌)を使って二次文献(書誌、索引など)を見つけ出し、さらにそれを使って一次文献(図書、雑誌記事など)を見つけ出す方法が知られています。

下記の事例は、主に雑誌記事について、本館にある文献を使って検索した一例を挙げています。利用者の参考になれば幸いです。

Q1 太宰治に関する最近5年間の論文について知りたい。

A ①まず全体的なその人物に関する二次文献にはどんなものがあるかを知るために、三次文献『日本書誌の書誌』人物編I(芸術、語学、文学)を見て見当を付ける。

②その中で最近5年間について適当と思われる二次文献『年刊人物文献目録』(80~83)を見ればかなりの文献が拾え、'84年以降については季刊の『雑誌記事索引』人文・社会編のK. 文学・語学中の現代文学、作家論を見ると関連文献を見つけることが出来る。

③一次文献としては、「わが師太宰治愛の遍歴」(桂英澄)、『歴史と人物』、10巻4号、昭和55年4月)など多数ある。

Q2 “過失相殺”についてレポートを書きたいんですが何をみたらいいでしょうか。

A ①“過失相殺”とはどういうことかを知るのにたとえば、『図解による法律用語辞典』を見ると民法418条、722条2項に関係ある事が判る。

②次に二次文献『法学文献総目録』第1~3巻(1916年~1944年)『戦後法学文献総目録』第I~VII巻(1945年~1977年)で民法の当該事項に関する文献を調べれば良い。最近のものについては月刊の『法律判例文献情報』を見ると良い。

③一次文献としては、「過失相殺—その機能と理論的位置」(平井宜雄)、『ジュリスト』No.500(判例展望)1972.3)など多数見られる。

Q3 大韓航空機事件に関する記事が見たい。

A ①当該事件が起きたのがいつごろか見当をつけるため『年鑑』類で調べると、1983年9月1日に起きた事が判る。

②一般に新聞記事を見る場合の二次文献としては、『戦後国内重要ニュース索引』昭和20年8月~昭和30年、『ニュース・イブブッカー朝日新聞の索引と抄録』1973~1975年版、『毎日ニュース事典』1973~1980年版、『読売ニュース総覧』1981~1982年版、『新聞雑誌記事カタログ』などがあるが、残念ながら1983年以降はまだ刊行されていないので、それについての記事は、当該日以降の新聞縮刷版を見れば良い。

③例として、『日本経済新聞縮刷版』を見るとこれは50音順のインデックス付なので、“大韓航空”の所を見ると、その語を含む記事の抄録文を日付順に並べてあるのでその中から必要な記事を見れば良い。

Q4 アメリカの奴隷制について調べたいんですが何をみたらいいでしょうか。

A ①まず全体をつかむために、三次文献『日本書誌の書誌』主題編Ⅰを見ると、分類項目 250:北アメリカの項に色々二次文献が載っている。

②上記の中の一つに『アメリカ史邦文文献目録』を基礎とした『アメリカ研究邦語文献目録』Ⅰ～Ⅲ(1945～1979)がある。その南部・奴隷制プランテーションの項などを見れば良い。最近の情

報を知るためには、季刊の『雑誌記事索引』人文・社会編でG:歴史・地理、アメリカ・オセアニア史の項を見れば良い。

③一次文献としては、「ピーチャーグリムケ奴隷解放論争」(福本保信)(『西南学院大学文理論集』19巻2号、'79.2、P.37-59)など多数見られる。

(情報サービス課参考係)

☆ ニュース・お知らせ ☆

〈図書館委員会〉

60.5.17 ①昭和60年度私大助成の申請について

〈研修・出張〉

- N-1 ネットワーク講習会
60.5.28 於:九州大学
杉野司書出席
- 昭和60年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会
60.5.29 於:久留米大学
後藤館長、刀根事務次長、今永課長出席
- 第6回(1985年度)EDCセミナー
60.5.30,31 於:名古屋大学
小嶋司書出席
- 米国政府刊行物研修会
60.6.6,7 於:福岡アメリカンセンター
荒川係長、小嶋司書、川上司書補出席
- 昭和60年度私立大学図書館協会西地区部会
60.6.7 於:熊本市(熊本郵便貯金会館)
後藤館長、刀根事務次長、今永課長出席
- 昭和60年度九州地区著作権講習会
60.6.18,19 於:宮崎市(宮崎県庁)
有森司書出席
- 第17回(昭和60年度)国連寄託図書館会議
60.6.27,28 於:筑波大学
小嶋司書出席

告知板

○夏休み長期貸出

7月1日(月)より。

貸出対象は学部学生、専攻科生、大学院生で、冊数は5冊以内(大学院生は20冊まで)返却期限は9月18日(木)まで。

○夏季休暇中の開館および休館

開館 日曜日を除く毎日 9:15～21:00

休館 7月30日(火)、31日(水)は職員夏期修養会のため。

8月13日(火)、14日(水)、15日(木)は夏季特別一斉休暇のため。

1階学習室は休暇中閉室

○卒業年次生のための特別利用

①貸出

卒論作成のための貸出があります。通常の貸出のほかに3冊以内、1ヵ月間利用することができます。また、修士・博士論文作成のため、通常の貸出のほかに5冊以内、2ヵ月間利用することができます。ともにグリーンの卒論用帯出証で利用します。

②先輩の卒業論文の閲覧

卒論作成の参考に諸先輩の卒論を閲覧することができます。

①、②いずれもゼミ担当教授の承認を得なければなりませんので、希望者はあらかじめ受付に申し出て用紙の交付をうけてください。

昭和60年度 指定図書目録

(Reserved Books)

指定図書とは 講義担当の先生方が、その講義に直接関連して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えています。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

教養課程・文学部(国際文化)

江 副 憲 昭<経済学A>

現代経済学の基礎 ゴートニー 多賀出版
 経済学 サロー TBSブリタニカ
 経済学事始 幸村千佳良 多賀出版
 経済学入門 鈴木守 春秋社
 プログラム学習経済学入門 エドワード 学習研究社

平 野 正<東洋史学>

中国抗日戦争史 石島紀之 青木書店
 第二次世界大戦 荒井信一 東大出版会
 <世界史概論>
 第三の危機 上田耕一郎 大月書店
 第三世界を知る 全5巻 岡倉古志郎(他) 大月書店
 現代国際政治資料集 杉江栄一 法律文化社
 戦後世界政治の構造 世界政治学団体研究会
 法律文化社

戦後世界政治と非同盟 土生長穂 大月書店

<地域文化概論I>

アジア・アフリカ問題入門 岡倉古志郎 岩波書店
 第三世界への視点 ユ生長穂(他) 大月書店
 非同盟・中立 土生長穂(他) 新日本出版
 国際関係論入門 斎藤孝 有斐閣
 国際問題入門 土生長穂 新日本出版

<哲学><倫理学>

ディドロ著作集 法政大学出版
 フランス革命の知的起源(上・下) 勁草書房
 ピエール・ベール著作集 法政大学出版

菱 谷 晋 介<心理学(1)~(4)>

イメージの基礎心理学 水島恵一(他) 誠信書房
 記憶と思考の発達心理学 山内光哉 金子書房
 認知心理学 ナイサー 誠信書房
 心像 リチャードソン 紀伊国屋
 心像表象の心理 北村晴朗 誠信書房

川 上 宏二郎<法 学>

アメリカ法の軌跡 ギルモア 岩波書店

「権利のための闘争」を読む 村上淳一 岩波書店
 日本人の法観念 大木雅夫 東大出版会
 隣人訴訟と法の役割 星野英一(他) 有斐閣

久 屋 孝 夫<英 語>

アメリカ英語の婉曲語法 全3巻 国弘正雄
 E L E C
 あと一步のspeaking 松尾式之 筑摩書房
 母国考 中津燎子 情報センター
 道具としての英語 J I C C
 ひとさし指の自由 チェエ・チェンホア(他)

社会評論社
 法廷にたつ言語 田中克彦 恒文社
 意味論入門 片桐ユズル 思潮社
 近代日本総合年表(第二版) 岩波書店
 ことばの魔術 金田一春彦 講談社
 思考と行動における言語(第4版) ハヤカワ

岩波書店
 嘘の人間学 ボク TBSブリタニカ

松 原 宏<人文地理学>

現代地理学の基礎 木村辰男(他) 大明堂
 現代日本の都市化 青木栄一(他) 古今書院
 現代の都市と農村 宮本憲一 NHK出版
 基本法農政の総点検 近藤康男(他) 御茶の水書房
 産業新地図 朝日新聞社経済部 朝日新聞社

松 本 達 郎<自然科学概論>

新自然科学概論 科学同人研究会

<地 学>

地球史 小嶋稔 岩波書店
 改稿新地学 藤田和夫(他) 学術図書出版
 宇宙・地球・人間 I・II クラウド 岩波書店

<進化論>

地球生物学入門 マックアレスター 共立出版
 人類進化学入門 埴原和郎 中央公論社
 日本人の起源 埴原和郎 朝日出版社

松 村 敬 治<化学1・2・3>

物質とは何か 水島三一郎 講談社

- くすりの小事典 坂本正明 朝日新聞社
身近な現象の化学 日本化学会 培風館
おもしろい化学元素(正・続) カレーリン 東京図書
最新化学への招待 朝日新聞社科学部 朝日新聞社
＜化学 4＞
分子の構造をさめる バロー 化学同人
物理学読本 朝永振一郎 みすず書房
化学結合を考える 飯島孝夫(他) 講談社
量子力学の世界 片山泰久 講談社
単位の進化 高田誠二 講談社
- 宮 川 政**＜比較文化方法論＞
文化の理論のために 竹内芳郎 岩波書店
比較文化論 飯塚浩二 評論社
比較文化論 加藤秀俊 中央公論社
比較思想論 中村元 岩波書店
講座比較文化 全8巻 学習研究社
- ＜西洋文学＞ ＜ドイツ文学概論＞ ＜演習＞
ドイツ文学の歴史 ゲールツ 朝日出版社
ドイツ文学史 藤本淳雄(他) 東大出版会
ドイツ文学史 マルティニー 三修社
ドイツ文学小史 ルカーチ 岩波書店
ドイツ文学とその時代 山下肇 有信堂高文社
- 森 泰 男**＜キリスト教学II＞
現代神学の状況 ガイヤール 日基教団出版
無神論 アルヴォン 白水社
パスカル著作集 全9巻 教文館
宗教は人間を救えるか 上村昌次 ヨルダン社
率直にきこう。あなたはなぜ神などを信ずるか。
泉秀樹(他) 女子パウロ会
＜キリスト教学IV＞
バルト 大木英夫 講談社
現代キリスト教倫理 ミュラー 日本YMCA
「神の存在」 ユンゲル ヨルダン社
キリスト教倫理 テート ヨルダン社
創造論IV/1～4 バルト 新教出版社
＜地域文化特講＞
イタリア・ルネサンスにおける人間の尊厳
佐藤三夫 有信堂高文社
ルネサンス ペイター 富山房
ルネサンスの人間論 佐藤三夫 有信堂高文社
ルネサンスの人間像 中森義宗(他) 近藤出版社
西洋文学への招待 清水孝純 九大出版
＜文献講読II＞
アウグスティヌス生涯と業績ー レーヴェニヒ
アウグスティヌス著作集 11-15巻 日基教団出版
ヘブル思想の特質 トレモンタン 教文館
創文社
- 世界史と救済史 レーヴィト 創文社
中 村 栄 子＜西洋文学＞
ゲルマン神話 吉村貞司 読売新聞社
ギリシア神話 ギラン 青土社
ギリシア神話 グリヌル 白水社
ギリシア神話 ケレーニイ 中央公論社
ギリシア・ローマ神話 高津春繁 岩波書店
古代北欧の宗教と神話 ストレム 人文書院
神話学入門 ケレーニイ 晶文社
- 中 島 和 男**＜地域文化特講＞
文学的ニーチェ像 秋山英夫 新潮社
ニーチェの生涯 ニーチェ, E. 河出書房
音楽の手帖:ワーグナー 青土社
＜文献講読I＞
中世の窓 阿部謹也 朝日新聞社
中世を旅する人々 阿部謹也 河出書房
ティルオイレンシュピーゲル 全2巻 南江堂
- 西 嶋 幸 右**＜西洋史学＞
フランス革命の知的起源(上・下) モルネ 勁草書房
フランス革命の研究 岩波書店
フランス革命と憲法 長谷川正安 三省堂
＜地域文化特講＞
モンテスキュー研究 樋口謹一 白水社
ルソー全集 全14巻・別巻2巻 白水社
- 斎 藤 末 弘**＜文献講読II・III＞
椎名麟三(上・下) 斎藤末弘 桜楓社
椎名麟三の文学 斎藤末弘 桜楓社
- 佐々木 武 夫**＜社会学＞
価値の社会学 作田啓一 岩波書店
基礎社会学I～V 東洋経済新報社
マックス・ウェーバー 住谷一彦 NHK出版
日本人の結婚観 神島二郎 筑摩書房
新中間大衆の時代 村上泰亮 中央公論社
- シート, L.K.**＜キリスト教学II＞
キリスト教概論 熊谷正喜(他) 新教出版社
人間III 松木治三郎 日基教団出版
新約聖書のイエス像 井上洋治 女子パウロ会
＜キリスト教学III＞
現代における神の問題 山本和 創文社
神はどこで見出されるか 滝沢克己(他) 三一書房
神を問う ティーリケ ヨルダン社
聖書のことば 宮木武之助 潮文社
宗教は人間を救えるか 上村昌次 ヨルダン社
＜キリスト教学IV＞
現代をいかに生きるか 宮田光雄 日基教団出版
これらの最も小さい者のひとりに 飯沼二郎 未来社

関 谷 定 夫<キリスト教学Ⅲ>

エルサレム—聖書の考古学— パロ みすず書房
 カラー図説聖書の偉大な人びと ライト

学習研究社

歴史地図と写真で実証する聖書の世界 東京書籍

聖書美術館 5: 聖書の旅 毎日新聞社

聖都エルサレム パールマン 学習研究社

<キリスト教学Ⅳ>

イエスの歩いた道 バックス 学習研究社

歴史としての聖書 ケラー 山本書店

聖書考古学大辞典 講談社

友 枝 龍太郎<哲学><東洋古典思想>

<日中比較文化論><演習>

朱子文集 友枝龍太郎 明德出版社

山 中 耕 作<日本文学>

古代歌謡と儀礼の研究 土橋寛 岩波書店

能及び狂言考 本田安次 能楽書林

日本民俗学入門(新版) 柳田国男(他) 名著出版

<日本芸能史>

邦楽用語辞典 田辺尚雄 東京堂

中世芸能史論考 森末義彰 東京堂

民俗芸能辞典 三隈治雄(他) 東京堂

日本舞踊辞典 郡司正勝 東京堂

日本芸能伝承論 池田弥三郎 中央公論社

文 学 部 (英語・英文)

安 徳 典 光<英作文>

Errors and expctions, Shaughnessy Oxford Univ.

A practical English grammar (New ed.)

Martinet Oxford Univ.

英語前置詞副詞活用辞典 ロングマン社

秀文インターナショナル

英国社会階層と文体 スコットオースマン社

秀文インターナショナル

現代英語書き方事典 スコットオースマン社

秀文インターナショナル

<演 習>

Business communication, Lesikar

Richard D. Irwin

Business letters for all, Naterop Oxford Univ.

Handbook of business letters McGraw-Hill

The language of business, Mack B B C

泉 マス子<スピーチA>

The bases of public speaking グロフ 三修社

Basic Oral communication, Capp

Prentice-Hall

Pathways to speech. Elin Learning-Trends

Speech communication and human interaction.

Scheidel Scott, Foresman

<スピーチB>

Improving oral English through choral speaking.

Larson 学書房

Story telling handbook. Breneman 学書房

オーラルインタープリテーション入門 近江誠

大修館

<コミュニケーション概論><演習>

Basic readings in communication theory.

Mortensen Harper & Row

The functions of human communication. Dance

Holt

Intercultural communication. Samovar Wadsworth

Nonverbal communication in human Interaction.

Knapp Holt

The process of communication. Berlo Rinhart

ジョンソン, H.C.<演 習>

Arthur Miller, Carson Macmillan

Arthur Miller, Murray Frederick Ungar

Arthur Miller, Nelson Peter Owen

Miller, the playwright. Welland Methuen

Psychology and A. Miller, Evans E.P. Dutton

Recent American drama. Downer

Univ. of Minnesota

The theater essays. Martin Viking

Twentieth century interpretations of Death of a

Salesman. Koon Prentice-Hall

Understanding drama. Brooks Holt

川 瀬 義 清<英語学講読>

Language and perception. Miller Harvard Univ.

黒 瀬 保<英文学批評>

異界 パッチ 三省堂

久 屋 孝 夫<英文法>

English as a world language. Bailey

Michigan Univ.

The use of English (2nd ed.), Quirk Longman

英語教師の文法研究 全2巻 安藤貞雄 大修館

英語のヴァリエーション 畑中實(他) 南雲堂

語法研究法 荒木一雄 学習研究社

<英 作 文>

英語の語感 キング 日本翻訳家養成センター

英作文における日本人の誤り 松井恵美 大修館

比較日本語論 柳父章 日本翻訳家養成センター

ジャパリッシュのすすめ 渡辺武達 朝日新聞社

日本語をどう書くか 柳父章 P H P 研究所

<演 習>

The modern stylists. Hall

Free

Style, an anti-textbook. Lanham Yale Univ.
 Style, the problem & its solution. Gray Mouton
 Though, sweet & stuffy. Gibson Indiana Univ.
 意味論・文体論 池上嘉彦 大修館
武井俊詳＜演習＞
 Effective business communication. Murphy
 McGrow-Hill
 Effective business report writing. Brown
 Prentice-Hall
 Rhetoric of everyday English texts. Jordau
 George Allen & Unwin
 Writing for career-education students
 Hartetal St. Martin's
 現代ビジネスレターの技術 ハウザー 学習研究社

文 学 部 (フランス語)

有田忠郎＜フランス文学史＞
 フランス文学講座 全6巻 阿部良雄(他) 大修館
 フランス文学史 饗庭孝男(他) 白水社
太田和男＜演習＞
 フランス経済をみる眼 清水真俊 有斐閣
 フランスの異邦人 林瑞枝 中央公論社
 フランス式エリート育成法 八幡和郎 中央公論社
 日本人とフランス人 舩添要一 光文社
 バリ日本館だより 小林善彦 中央公論社

文 学 部 (児童教育)

菱谷晋介＜教育心理学Ⅱ＞
 情報処理心理学入門Ⅰ・Ⅱ リンゼイ サイエンス社
 記憶の科学 ノーマン 紀伊国屋
 記憶のしくみⅠ・Ⅱ クラッキー サイエンス社
 認知心理学への招待 ベネット(他) サイエンス社
 人間の情報処理 ルーメルハート サイエンス社
 ＜心理学測定法Ⅰ＞
 教材心理学 木下富雄(他) ナカニシヤ出版
 認知心理学への招待 ベネット(他) サイエンス社
 応用実験心理学 吉田正昭 筑摩書房
 心理学における実験と測定 岡本栄一(他)
 日本文化科学社
 心理学の研究法入門 辰野千寿(他)
 日本文化科学社
 ＜心理学測定法Ⅱ＞
 複雑さに挑む科学 柳井晴夫(他) 講談社
 行動研究法入門 ローゼンサール 新曜社

教育心理－統計法要説－ 山内光哉(他) 明治図書
 例解統計入門 鈴木義一郎 実教出版
 質的データの解析 エヴェリット 新曜社
松永裕二＜比較教育学＞
 二つの世界の子どもたち ブロンフェンブレンナー
 金子書房
 比較日本人論 千石保(他) 小学館
 いつ＜日本人＞になるか 千石保 小学館
 日本の小学生 千石保 小学館
笠文七＜児童文学＞＜演習＞
 ペロ出しチョンマ 斎藤隆介 理論社
 泣いた赤おに 浜田広介 金の星社
 展望日本の児童文学 大藤幹夫 双文社
 豊島与志雄童話選集 永瀬道彦(他) 双文社
 宮沢賢治全集11～14 筑摩書房

堺太郎＜児童福祉学＞
 光ほのかなれど 上笠一郎(他) 朝日新聞社
 保育を学ぶもののための児童福祉 吉田宏岳
 福村出版
 児童福祉 井垣章二 ミネルヴァ書房
 児童福祉 林千代 相川書房
 児童福祉の理論と実践(補訂版) 井上 肇 川島書店
 ＜社会福祉学＞
 教養としての社会福祉 吉田宏岳 川島書店
 入門社会福祉 大塚達雄 ミネルヴァ書房
 社会福祉の基礎知識 小倉襄 有斐閣
 社会事業に生きた女性たち 五味百合子
 ドメス出版
 続社会事業に生きた女性たち 五味百合子
 ドメス出版

＜社会福祉学Ⅱ＞

ケースワークの基礎知識 小松源助(他) 有斐閣
 グループワーク教室 福田垂穂(他) 有斐閣
 日本のケースワーク 松本武子 家政教育社
 社会福祉の方法 重田信一 川島書店
 ソーシャルワークの基礎 吉沢英子 相川書店

＜養護原理Ⅱ＞

愛と共感の教育 糸賀一雄 柏樹社
 福祉の思想 糸賀一雄 NHK出版
 心身障害者福祉 小島容子 誠信書房
 障害をもつ人達と共に 大塚達雄 ミネルヴァ書房
 障害者福祉はいま 児島美都子 ミネルヴァ書房

＜演習＞

障害児教育 中野善達 福村出版
 障害児教育の思想 伊藤隆二 ミネルヴァ書房
 障害児の早期教育 村井潤一 ミネルヴァ書房
 統合教育 辻村泰男 福村出版

＜保育実習Ⅰ・Ⅱ＞

保育実習 待井和江 ミネルヴァ書房
 保育実習 岡田正章(他) 医歯薬出版
 保育実習の手引き 中央幼児教育研究会 学芸図書
 障害児保育ハンドブック 新村豊 黎明書房
 幼稚園・保育園実習の常識

教育・保育を考える会 ミネルヴァ書房
 <保育実習Ⅲ>

児童福祉施設実習総論 相川書房
 児童養護実習 斎藤謙 川島書店
 社会福祉施設実習 大塚達雄 ミネルヴァ書房
 施設保育・養護の実際(改訂版) 小林提樹 日本小児医事出版

佐々木 直 井<生物学概論>

動物の分類 高木貞夫 東大出版会
 比較動物学 フィンガーマン 培風館
 哺乳類 小原秀雄 岩波書店
 脊椎動物のからだ ローマー 法政大出版
 植物のかたち 原襄 培風館

米 谷 光 弘<幼児体育>

保育の中の体力づくり12ヶ月 原田碩三 中央法規出版
 ムーブメント教育 フロステック 日本文化科学社
 3才から始める幼児の体力づくり 水谷英三(他) ひかりのくに
 運動遊具あそび 西本美節 中央法規出版
 幼児体育の理論と実際 勝部美 杏林書院
 <保育内容(健康)>
 あそび保育のすすめ 守屋光雄(他) 中央法規出版
 保育学原論 守屋光雄 朝倉書店
 自由な子どもの発見 山根耕平(他) ミネルヴァ書房
 からだの発達 高石昌弘(他) 大修館
 幼児教育法-健康- 三晃書房

商 学 部

古 林 輝 久<経営労務論>

文化の理論のために 升内芳郎 岩波書店
 変動期の人間と社会 坂田期雄 ミネルヴァ書房
 労働時間と労働組合 内海義夫 労働旬報社
 労働の哲学 内山節 田畑書店
 戦後日本の労働過程 内山節 三一書房

<労務管理論>

技術革新と産業社会 並木信義 日本経済新聞社
 管理の哲学 林田晴夫 文眞堂
 経営組織と人間行動 吉川栄一 日本労働協会
 ME革命と労働組合 剣持一巳 日本評論社
 労働と人間行動 正田 亘(他) 泉文堂

後 藤 泰 二<演習Ⅰ・Ⅱ><企業形態論>

現代資本主義における所有と決定 北原勇 岩波書店
 ドイツ大銀行の産業支配 ヤイデルス 勁草書房
 経営財務の基礎理論 高橋昭二 同文館
 経営財務論 後藤泰二(他) ミネルヴァ書房
 企業形態論 植竹晃久 中央経済社

浜 田 和 樹<分析会計論>

企業倒産の予防戦略 戸田俊彦 同文館
 資金フローと会計フロー 佐藤宗弥 日本経済評論社
 資金繰り 染谷恭次郎 有斐閣
 資金計画のたて方(増補版) 染谷恭次郎 中央経済社
 資金運用表のつくり方(増補版) 中島信行 同文館

<演習Ⅰ・Ⅱ>

経営分析の実務 西野嘉一郎 中央経済社
 入門利益計画 溝口一雄 中央経済社
 テキストブック経営分析 後藤幸男(他) 有斐閣
 予算管理 吉田彌雄 同文館
 ゼロベース予算(増補版) 西澤脩 同文館

井 上 康 雄<原価計算論>

カントリールリスク 高倉信昭 ダイアモンド社
 原価会計講義 井上康男 同文館
 会社決算の実務Q&A 山上一夫 同文館
 国際経営財務 村松司叙 税務経理協会
 マネジメント法人税 藤城宏 税務研究会出版

<管理会計論>

管理会計論(新版) 井上康男 同文館
 管理会計論 内田昌利(他) 森山書店
 国際財務戦略 高倉信昭 財経詳報社
 新時代の企業ファイナンス戦略-調達編- 山一証券経済研究所 東洋経済新報社

糸 園 辰 雄<商学総論>

現代日本の流通機構 糸園辰雄(他) 大月書店
 現代商業学 橋本勲 ミネルヴァ書房

<中小企業論>

流通変革下の中小小売業 国民年金公庫
 中小企業リサーチセンター
 ワークブック中小企業論 佐藤芳雄 有斐閣

大 矢 繁 夫<証券論>

現代日本の証券市場 岡崎守男(他) 有斐閣
 現代証券市場論 田坂元 有斐閣
 戦後証券史を語る(上・下) 日本証券経済研究所
 信用理論の体系 生川栄治 有斐閣

<演習Ⅰ・Ⅱ>

ドイツ大銀行の産業支配 ヤイデルス 勁草書房
 ヒルファディングの経済理論 保住敏彦 梓出版社
 国際金融市場 ドウフェイ 東大出版会
 ボンド・スターリング フェヴァー 新評論

戦後経済と証券市場 川合一郎 有斐閣
 佐々木 武 夫<経営社会学>
 新しい労働者の研究 萬成博 白桃書房
 中高年齢層の職業と生活 青井和夫(他) 東大出版会
 国際経営の人間問題 石田英夫 慶應通信
 日本労働管理史研究 間宏 御茶の水書房
 産業における労働と権限 ベンディクス 東洋経済新報社

辻 和 夫<公企業論>

フランス企業と国有化問題 玉村博巳 同文館
 比較公企業論 山谷修作 高文堂
 公益企業の料金と財務 西川義朗 税務経理協会
 日本の公企業 岡野行秀(他) 東大出版会
 政府と企業 石井彰次郎 白桃書房

<交通論>

アメリカ国民経済の生成と鉄道建設 生田保夫 泉文堂
 現代自動車交通論 今野源八郎 東大出版会
 海運経済論(改訂版) 織田政夫 成山堂
 海運産業論 地田知平 千倉書房
 交通経済要論 前田義信 晃洋書房

山 田 洋<憲法Ⅲ>

公法の課題 田中二郎先生追悼論文集 有斐閣
 公法の基本問題 田上譲治先生喜寿記念 有斐閣

経 済 学 部

吾 郷 健 二<国際経済論>

エネルギーとエントロピーの経済学 東洋経済新報社
 学校・医療・交通の神話 山本哲士 新評論
 経済人類学 栗本慎一郎 東洋経済新報社
 世界経済の構造と展開 有賀定彦 ミネルヴァ書房
 資源物理学入門 槌田敦 NHK出版

<低開発経済論>

従属的蓄積と低開発 フランク 岩波書店
 ラテンアメリカと国際関係 西向嘉昭 晃洋書房
 南北問題の現代的構造 本多健吉 日本評論社
 メキシコからの手紙 黒沼ユリ子 岩波書店
 世界資本主義と低開発 フランク 拓植書房

<外書講読Ⅱ>

経済人類学序説 湯浅超男 新評論
 経済人類学の現在 プイヨン 法政大出版
 経済体制の理論 ドールトン サイマル出版
 マルクス主義と経済人類学 山崎カヲル 拓植書房
 社会人類学案内 リーチ 岩波書店

<演習Ⅰ>

エコノミーとエコロジー 玉野井芳郎 みすず書房
 経済学の神話 ジョージェスク 東洋経済新報社
 経済発展の生態学 ウィルキンソン 筑摩書房
 人間・自然・エネルギー オダム 共立出版
 人間復興の経済 シューマッハー 佑学社

江 副 憲 昭<価格理論>

需要と供給の世界 林敏彦 日本評論社
 公共政策 野口悠紀雄 岩波書店
 ミクロ経済学 林敏彦 東洋経済新報社
 ミクロ経済学Ⅰ 奥野正寛 岩波書店
 入門価格理論 倉沢資成 日本評論社

<近代経済実習>

イラスト日本の経済 日本経済新聞社
 経済を見る100の指標 日本経済新聞社
 マクロ経済学 藤野志朗(他) 有斐閣
 ミクロ経済学 藤野志朗(他) 有斐閣
 ゼミナール日本経済入門 日本経済新聞社

<演習Ⅰ>

現代経済学(上・下) シルバーバーグ マグロウヒル好学社
 価格理論 伊達邦春 同文館
 価格理論 ストーニャー 春秋社
 経済原論 熊谷尚夫 岩波書店
 ミクロ経済学 嶋村紘輝 成文堂

原 田 三喜雄<演習Ⅰ・Ⅱ>

貧困 西川潤 岩波書店
 人口 西川潤 岩波書店
 国際秩序の再編成 ティンバーゲン ダイアモンド社
 国際関係の政治経済学 川田侃 NHK出版
 国際経済秩序の進展 ルイス 東洋経済新報社
 南北問題 西川潤 NHK出版
 南北問題の経済学 小野一一郎 同文館
 南と北・生存のための戦略 ブラント委員会報告 日本経済新聞社
 世界開発報告 世界銀行 オックスフォード大出版
 新訂南北問題 森田桐郎 日本評論社
 食糧 西川潤 岩波書店
 テキストブック世界経済 緒田原渥一 有斐閣

井 坂 文 夫<国民所得論>

現代マクロエコノミックス(上・下) ゴードン 多賀出版
 経済を見る100の指標 日本経済新聞社
 マクロ経済学 小泉進 有斐閣
 マクロ経済学 新開陽一 東洋経済新報社
 <近代経済学実習>
 地方上級公務員専門試験問題集 資格試験研究会 実務教育出版

近代経済学 新開陽一(他) 有斐閣
 近代経済学の基礎知識 新開陽一(他) 有斐閣
 国家上級公務員専門試験問題集

資格試験研究会 実務教育出版
 公務員試験経済原論 現代経済研究所
 実務教育出版

＜外書講読Ⅱ＞

経済学 サロー TBSブリタニカ
 マクロ経済学入門 中谷巖 日本経済新聞社
 ミクロ経済学 林敏彦 東洋経済新報社
 ミクロ経済学入門 奥野正寛 日本経済新聞社
 入門価格理論 倉沢資成 日本評論社

＜演習Ⅰ＞

高度成長 佐和隆光 NHK出版
 マクロ経済学と日本経済 浜田宏一 日本評論社
 プログラム学習による経済数学入門Ⅰ～Ⅲ
 マーチン 学習研究社

岩 元 和 秋＜地方財政論＞

地方財政総論 佐藤進 同文館
 現代日本地方財政論 岩元和秋 有斐閣
 新訂現代地方財政論 吉岡健次(他) 有斐閣
 財政学入門 佐藤進 同文館
 全訂現代地方財政論 岩元和秋 有斐閣

＜演習Ⅰ＞

現代都市論 柴田徳衛 東大出版会
 自動車の社会的費用 宇沢弘文 岩波書店
 日本の都市政策 柴田徳衛 有斐閣
 都市経済論 宮本憲一 筑摩書房
 都市財政概論 橋本徹(他) 有斐閣

川 島 信 義＜経済学史＞

道徳情操論(上・下) スミス 未来社
 一般理論経済学Ⅰ・Ⅱ メンガー みすず書房
 純粋経済学要論 ワルラス 岩波書店
 ケインズ全集Ⅰ～Ⅸ 東洋経済新報社
 経済学原理Ⅰ～Ⅳ マーシャル 東洋経済新報社
 経済学原理Ⅰ～Ⅴ ミル 岩波書店
 「国家論」の成立 経済学史学会 岩波書店
 厚生経済学Ⅰ～Ⅳ 東洋経済新報社

木 村 毅＜社会政策総論＞

男女雇用の平等 道田信一郎 新潮社
 現代労働・社会問題の新局面 山本正治郎(他) 東大出版会
 経済社会の変動と社会保障 社会保障研究所 東大出版会
 労働力商品論の基本問題 平野厚生 高文堂
 社会保障概論 小沼正(他) 川島書店

＜演習Ⅰ・Ⅱ＞

80年代の労使関係 日本労働協会

海外投資と雇用問題 日本労働協会
 解体する熟練 田中博秀 日本経済新聞社
 定年制の歴史 萩原勝 日本労働協会

松 原 宏＜演習Ⅰ＞

現代資本主義と地域 ホランド 法律文化社
 経済地理学 山名伸作 同文館
 国土・都市・農村と地域開発 儀我壮一郎(他) 自治体研究社

日本資本主義と地域経済 野原敏雄 大月書店
 産業配置と地域構造 矢田俊文 大明堂

柴 田 徳太郎＜金融論＞

現代金融の理論と構造 小野英祐(他) 東洋経済新報社
 現代の金融経済 岡本磐男(他) 世界書院

時 政 勲＜経済原論A＞

現代マクロエコノミックス(上・下) ゴードン 多賀出版
 マクロ経済学(上・下) ドーンブッシュ マグロウヒル好学社

マクロ経済学 小泉進 有斐閣
 マクロ経済学入門 中谷巖 日本経済新聞社
 入門マクロ経済学 中谷巖 日本評論社

＜産業連関論＞

近代経済学講座・計量分析篇3-産業連関分析- 内田忠夫(他) 有斐閣
 産業連関分析入門 宮沢健一 日本経済新聞社
 産業連関分析入門 新飯田宏 東洋経済新報社
 産業連関論入門 金子敬生 日本評論社
 昭和50年産業連関表-総合解説- 行政管理庁
 全国統計協会連合会

上 垣 彰＜計画経済論＞

「不足」の政治経済学 ヤーノシュ 岩波書店
 経済計画論 有木宗一郎(他) 世界書院
 模索する現代社会主義 五島武 世界思想社
 ソ連経済史 ノーブ 岩波書店

山 田 洋＜憲法Ⅲ＞

公法の課題 田中二郎先生追悼論文集 有斐閣
 公法の基本問題 田上譲治先生喜寿記念 有斐閣

法 学 部

今 井 威＜憲 法＞

注釈日本国憲法(上・下) 青林書院新社

神 宮 典 夫＜法 制 史＞

ローマ法Ⅰ～Ⅴ 船田享二 岩波書店
 ローマ法 原田慶吉 有斐閣
 ローマの共和政 プライケン 山川出版社

- ローマ私法概説 セーザー 創文社
ローマ帝国、ある帝国主義の歴史 ボールズドン 平凡社
- ＜基礎演習＞
法学史 碧海純一 東大出版会
ローマ法の原理 原田慶吉 清水弘文堂
- ＜外書講読＞
歴史とは何か カー 岩波書店
- ＜演習＞
ビザンツ社会経済史研究 渡辺金一 岩波書店
ローマ帝国の没落 チェインバース 創文社
ローマ帝国の国家と社会 弓削達 岩波書店
The fall of Rome. Chambers Holt
- 川上 宏二郎＜行政法＞
情報公開 平松毅 有斐閣
行政法判例(改訂版) 広岡隆 有斐閣
行政法序説 成田頼明 有斐閣
行政法の憲法史的課題 河合義和 法律文化社
新版現代行政法入門1・2 室井力 法律文化社
- ＜地方自治法＞
地方自治年鑑<1984> 自治研修協会 第一法規
地方自治体の監査委員 宮元義雄 学陽書房
地方公共団体の契約 綾野芳一 ぎょうせい
詳解地方自治法I～III 綿貫芳源 公務職員研修協会
図解地方自治法(第5版) 大橋茂二郎 良書普及会
- 河島 幸夫＜政治学原論＞
平和の神学 テート 新教出版社
比較政治社会学 ドガン 芦書房
カール・シュミット論 ベンダースキー 御茶の水書房
政治学史 福田歓一 東大出版会
信仰と政治思想史 河島幸夫 創言社
- ＜政治思想史＞
キリスト教倫理 テート ヨルダン社
デモクラシーへの細い道 永岡薫 日基教団出版
国家思想史(上・下) 田口富久治(他) 青木書店
宗教改革著作集 全15巻 ルター(他) 教文館
トレルチ著作集 第8、9巻 ヨルダン社
- ＜基礎演習＞
ドイツ 福武書店
ドイツハンドブック 三省堂
ドイツ国民の歴史 コンツェ 創文社
なぜヒトラーを阻止できなかったか マティアス 岩波書店
ワイマル共和国史 第2巻 ぺりかん社
- ＜外書II＞
第二次世界大戦 荒井信一 東大出版会
- ヒトラーの戦争(上・下) アーヴィング 早川書房
ヒトラーと独ソ戦争 守屋純 白帝社
権力のネメシス ウィラー＝ベネット みすず書房
ヨーロッパ外交史教材 斎藤孝 東大出版会
- ＜演習＞
ヒトラー暗殺計画 小林正文 中央公論社
ヒトラーを狙った男たち ベルトルト 講談社
夜・夜明け・昼 ヴィーゼル みすず書房
ユダヤ人 デイモンド 朝日新聞社
ユダヤ人はなぜ殺されたか グヴィットヴィッチ サイマル出版
- 小杉 茂雄＜民法I＞
民法総則 星野英一(他) 有斐閣
- ＜民法II＞
物権(1)(2) 星野英一(他) 有斐閣
入会裁判の実証的研究 中尾英俊 法律文化社
入会権 中尾英俊 一粒社
自主占有 田中整爾 一粒社
- 中森 宏＜民事訴訟法I・II＞
演習民事訴訟法 鈴木正裕(他) 有斐閣
基本判例からみた民事執行法 新堂幸司(他) 有斐閣
民事訴訟判例百選 新堂幸司(他) 有斐閣
民事執行法講義 山木戸克巳 有斐閣
新版民事訴訟法演習(1)(2) 三ヶ月章(他) 有斐閣
- ＜破産法＞
破産法 山木戸克巳 青林書院新社
- 西井 龍生＜民法IV＞
不法行為法における権利保障と損害の評価 淡路剛久 有斐閣
現代契約法大系1～9 有斐閣
公害賠償の理論 淡路剛久 有斐閣
- ＜民法V＞
民法講座1～8 星野英一(他) 有斐閣
- 大内 和臣＜国際法＞
基本条約・資料集(第4版) 有信堂高文社
- ＜演習＞
国際法辞典 国際法学会 鹿島出版
- シールズ, F.L.＜現代アメリカ政治論＞
＜現代アメリカ外交史＞
アメリカ外交史研究 本橋正 第一法規
アメリカ外交と官僚 ハルベリン サイマル出版
アメリカのデモクラシー 三宅一郎(他) 有斐閣
アメリカの権力 陸井三郎 すずさわ書店
アメリカ政治史 有賀貞 福村出版
米国の対日動向とその海軍 内閣情報部
米国政治史の研究 高木八尺 岩波書店
ベスト&ブライテスト ハルバースタム

- サイマル出版
 カーター政権 中島誠 教育社
 中国とアメリカ・今後10年の展望 カウンシル 人間の科学社
 ジョージ・F・ケナン回顧録(上・下) 読売新聞社
 ケネディの時代 中屋健 東大出版会
 キッシンジャーの犯罪 ショークロス パシフィカ
 モスクワへの道 キッシンジャー 小学館
 ニクソン回顧録—破局への道— 小学館
 戦後アメリカ外交政策 スパーニア・ジョン 鹿島研究所出版
 戦後アメリカの世界政策と日本 山田浩 法律文化社
 ベトナム秘密報告 サイマル出版
- 高 橋 貞 夫**＜労働法Ⅰ＞
 現代行政法大系 9(公務員・公物) 雄川一郎(他) 有斐閣
 現代労働法講座 14(労働訴訟) 日本労働法協会 総合労働研究所
 現代労働法の展開 片岡昇 岩波書店
 社会法の現代的課題 荒木誠之(他) 法律文化社
 全訂労働組合法 菊池勇夫(他) 日本評論社
- ＜労働法Ⅱ＞
 現代労働法講座 13(雇用保障) 15(官公労) 日本労働法学会 総合労働研究所
 労働基準法の課題と展望 正田彬(他) 日本評論社
 新労働基準法論 片岡昇 法律文化社
- 田 村 茂 夫**＜商 法Ⅰ＞
 現代企業法講座 全5巻 竹内昭夫(他) 東大出版会
- ＜商 法Ⅱ＞
 注釈株式会社法(上・下) 今井宏 有斐閣
 会社法の理論(1)(2) 竹内昭夫 有斐閣
 結合企業会計の法的規制 岸田雅雄 有斐閣
- ＜基礎演習＞
 法学概論(第3版) 尾高朝雄 有斐閣
 法の概念 ハート みすず書房
 法理論の現在 カウフマン ミネルヴァ書房
 法社会学の基礎理論 エールリッヒ みすず書房
 利益法学 ヘック 慶應通信
- ＜演 習＞
 ドイツ市民法史 村上淳一 東大出版会
 会社法(新版) 北沢正啓 青林書院新社
 商法(新版)—司法試験シリーズ— 日本評論社
 商法の争点(第2版) 有斐閣
 Law and business in Japan 川村明 青林書院新社
- 田 辺 康 平**＜商 法Ⅲ＞
 会社法・手形法論集 上柳克郎 有斐閣
- 手形法の判例と理論 倉沢康一郎 成文堂
 ＜商 法Ⅳ＞
 現代保険法 田辺康平 文眞堂
 現代保険法論 倉沢康一郎 一粒社
 海上保険法論 亀井利明 成山堂
- 山 田 洋**＜行政法Ⅱ＞
 フランス行政法の理論 滝沢正 有斐閣
 判例コンメンタール—行政事件訴訟法— 三省堂
 行政法序説 成田頼明 有斐閣
 行政訴訟の法理論 宮崎良夫 三省堂
 裁判実務大系.1(行政争訟法) 青林書院新社
- ＜外書講読Ⅰ＞
 Freedom of expression in Japan, Beer 講談社
 ＜演 習＞
 現代行政法学全集 全巻 ぎょうせい
- 教 職 課 程**
- 菱 谷 晋 介**＜教育青年心理学＞
 教育心理学(上・下) 藤永保(他) 有斐閣
 教育心理学の基礎知識 河合伊六(他) 福村出版
 教育心理学入門 安藤延男 福村出版
 目でみる教育心理学 人間の行動科学研究会 ナカニシヤ出版
- 久 屋 孝 夫**＜英語科教育法＞
 英語教授法辞典(新版) 小川芳男(他) 三省堂
 北国に芽ぶく英語教育 安藤勝夫(他) 三友社
 ことば教育 村田栄一 筑摩書房
 よくわかる英語教科書の教え方 全3巻 江口元夫 三友社

昭和60年度 指定図書目録（図書館報 第104号 付録）

昭和60年 7 月 2 日発行 西南学院大学図書館